

3類型	鋳工業品	通巻番号	5-20-004
地域資源名	京友禅、西陣織	認定日	平成20年7月7日
地域	京都府京都市、宇治市、亀岡市、京丹後市	所管省庁	経済産業省

**事業名：「本檜」染の技術をベースにして、種々の色相効果を持った絹織物及び、新たな天然繊維の導入による新しい京友禅和装品及びショール等の開発・販売**

会社名：岡山工芸

所在地：京都府京都市伏見区深草西浦町  
8-2-2

連絡先：TEL：075-643-4317

H P：http://www15.ocn.ne.jp/~okayama

FAX：075-643-4317

### 事業概要(新たな活用の視点)

- ・京友禅は、江戸期に京都で宮崎友禅斎によって創始された高度な技術と洗練された意匠から生み出される日本を代表する伝統工芸品のひとつである。
- ・しかしながら、現状は生産量がピーク時の4.5%にまで落ち込み、新技術の開発や新商品・新分野研究への真剣な取り組みが求められる状況にある。
- ・そのような中、技術開発への取り組みの中で従来にない優れた奥行きのある色彩を出す新しい染色技法である「本檜」染を開発した。
- ・本事業では、「本檜」染の技術を生かし、従来からの絹に加え、新たに竹繊維や天蚕糸などの天然繊維を導入し、新しい京友禅和装品及びショール等の開発・販売を行う。



【京友禅】

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

- ・「本檜」染めは、檜エキスを使い重ね染めするため、従来にない深みのある独特の色相が得られる。「本檜」染は当社の登録商標である。
- ・また、檜の持つ防菌力、消臭性、防カビ力等の効果にも注目し、改良と評価試験を行っている。

#### ◆市場性

- ・大手販売店に「本檜」染を用いた試作訪問着を見せたところ、色の深さを気に入られ、即決で100枚の発注を頂くなど高評価であった。
- ・また、最近の自然志向の高まりを意識した天然繊維の導入やショールのような和洋兼用の商品の開発により、新たな需要の開拓を行う。

#### ◆販路

- ・大手販売店にはこれまでどおり販売していくが、伝統的な呉服問屋や専門店でも当社社員が最終顧客に直接商品説明をし、販売する形態を増やすなど新たな試みを行う。



【伝統工芸士 京の名工 岡山武子】

### 地域資源における関係事業者との連携

- ・生産工程中、自社ではできない引染加工・刺繍・仮仕立・染色補正・整理等は京友禅、西陣織りの分業制度の下にある各専門家に任せ、それぞれ独自の技術力を発揮してもらう。